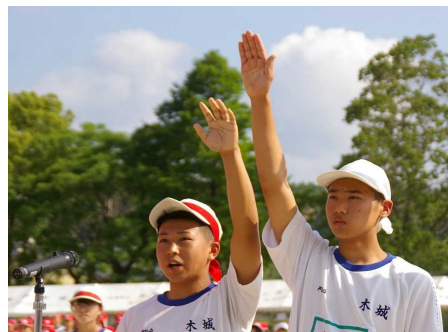


令和5年度

県民総ぐるみ「地域・学校づくりのつどい」 (児湯地区)

～子どもを中心に考えた地域づくりと学校づくり～

ようこそ木城町へ  ようこそ木城学園へ



木城町教育委員会



行政の取組

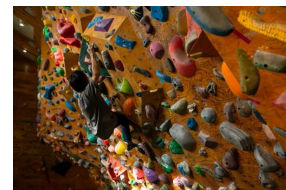
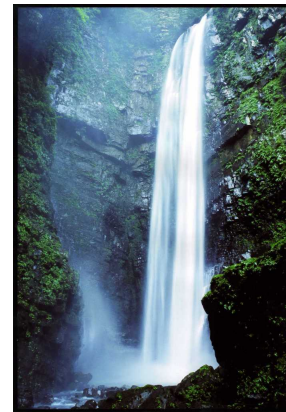
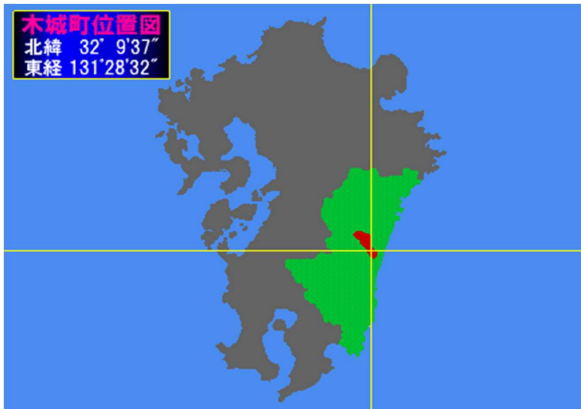


木城町マスコット
キャラクター
キックン



木城町マスコット
キャラクター
クウちゃん

町の概要





木城町におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会） 地域学校協働本部設立の流れ



令和元年

宮崎県教育振興基本計画（令和元年～令和4年）
（スローガン）未来を切り拓く心豊かでたくましい宮崎の人づくり」

目標 1…県民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進
重点取組2…地域や学校の連携・協働による多様な活動の充実

令和2年

木城町の子どもたちについて
未来を語ろう会
参加者募集

木城町の未来を見据え、学校や地域で、どんな子どもを育てたいか、どんな力を付けて欲しいかなどについて、様々な職種の方々と教職員とで語り合う会です。

日 時	場 所
令和2年8月20日(木)	木城小学校

教職員と町民
による熟議

【テーマ】
「木城町の子どもたちのよさや課題を踏まえて、どんな子どもを育てていきたいか。また、育てなくてはならないか」

※義務教育学校開校に向け、学校と地域が連携・協働していく必要性



木城町におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会） 地域学校協働本部設立の流れ



令和3年

木城町学校運営協議会（木城小・木城中）スタート！

※ 学校関係者評価委員会の廃止
※ 学校運営協議会設置等に関する規則の制定

（構成委員） コミュニティスクールディレクター1名（町雇用）
前学校関係者評価委員、小中学校PTA会長
社会教育団体代表、商工会会長、JA支所長
社会福祉協議会代表、町関係各課長 計14名

（開催実績） 6月…小中合同（学校経営ビジョン・職員配置の説明）
11月…中学校授業参観・協議等
12月…小学校授業参観・協議等
2月…小中合同（一年間の総括・学校評価）



課題

学校運営協議会委員の学校運営への具体的な参画方法
地域学校協働本部の設置



令和4年

木城町教育大綱 令和4年3月策定 （令和4年度～令和6年度）



基本理念「未来を拓き、木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり」

基本目標1 子どもが健やかに育つまち「木城」

(1) 健やかな子どもを育む教育環境の充実

取組1「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の推進」

複雑化・多様化する教育的課題に対して、学校・家庭・地域が一体となって学校づくりに取り組むコミュニティ・スクール（木城町学校運営協議会制度）を運用し、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

また、本町が抱える様々な地域課題を、地域と学校が深く関わりながら課題解決に向けて連携・協働する地域学校協働活動を推進し、「学校を核とした地域づくり」を推進します。

基本目標2 町民一人一人が主役のまち「木城」

(2) ボランティア活動の充実

取組1「地域学校協働活動の推進及び地域学校協働本部の設置」

「地域の子どもは地域で育てる」という機運を高め、子どもの教育や地域づくりに参画する機会を提供します。また、活動の活性化を図るために、関係団体の代表からなる「地域学校協働本部」を設置し、組織的な運営を推進します。

取組2 各種団体との連携強化

地域学校協働活動の活性化を図るために地域コーディネーターを配置し、地域や学校のニーズを把握するとともに、活動の実施方法等の協議や、情報交換をするために、関係団体の代表者による「地域学校協働本部会議」を定期的に開催し取組を推進します。



木城町における学校運営協議会（コミュニティ・スクール） 地域学校協働本部設立の流れ



令和4年

木城町地域学校協働本部スタート！

※ 地域学校協働本部設置要綱を定め、年3回の地域学校協働本部推進協議会を開催することとした。
※ 学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的推進を図るため、コミュニティ・スクールディレクターを地域コーディネーターに改称。

（構成委員） 地域コーディネーター1名（町雇用）
PTA 社会教育団体 スポーツ団体 福祉関係団体
公民館関係者 民生委員 学校職員 等 計21名

（開催実績） 地域学校協働本部推進協議会（年3回）
6月…地域学校協働本部についての説明
活動内容についての協議
7月…熟議（※新型コロナウイルス感染症拡大により中止）
12月…地域像についての協議
<柱の活動> コスモス大作戦、あいさつ運動



課題

地域学校協働活動の周知及び参加者の拡大



学校の取組

木城町立みどりの杜木城学園

令和5年度児童生徒数

R5.8.31現在

	1組	2組	特別支援 学級	計
1学年	25	24	1	50
2学年	29	29	5	63
3学年	24	22	5	51
4学年	26	27	3	56
5学年	30	31	2	63
6学年	28	27	0	55
			前期課程計	338
7学年	24	24	0	48
8学年	27	29	2	58
9学年	20	20	1	41
			後期課程計	147
			総計	485

※特別支援学級内訳
 少人数1組(2年:知的 3名)
 少人数2組(1~3年:情緒 8名)
 少人数3組(4~5年:情緒 5名)
 少人数4組(8~9年:情緒 3名)

みどりの杜木城学園の「校是」「校訓」

校是

夢を抱き元気なあいさつと笑顔があふれ
 子どもの生命と瞳が輝く学校づくり

校訓

立志



木城町教育大綱

【基本理念】

未来を拓き、木城の明日を担う
 心豊かでたくましい人づくり

【基本目標】

- 1 子どもが健やかに育つまち「木城」
- 2 調和のとれた人間力を育むまち「木城」
- 3 子どもから大人まで学び合い育ち合うまち「木城」
- 4 町民一人一人が主役のまち「木城」

学校の教育目標

【校是】

夢を抱き元気なあいさつと笑顔があふれ
子どもの生命と瞳が輝く学校づくり

【本校の教育目標】

ふるさと木城を愛し

【義務教育学校ミッション】

目標をもって主体的に学び

【知】

思いやりとやさしさのある

【徳】

心身共にたくましい

【体】



児童生徒を**地域と共に**育成する【教育大綱ミッション】

学校経営の基本方針

① 9年間を見通した活力と創造に満ちた
組織的な教育活動

② 系統性・連続性のある教育活動



社会性や調和のとれた人間性の育成

第Ⅰステージ
(基礎期)

(第1学年～第4学年)

第Ⅱステージ
(充実期)

(第5学年～第7学年)

第Ⅲステージ
(発展期)

(第8学年～第9学年)

学校経営の基本方針

- ① 学校づくりは地域づくり、
地域づくりは学校づくり
- ② 家庭や地域、企業・団体等と
連携・協働した教育活動

子どもから大人まで学び合う「木城ならではの教育」の構築

ふるさとを愛する心情や態度の育成

学校を核とした
地域づくり

(地域学校協働本部)

大人も子どもも
学び合い育ち合う
教育体制の構築

地域と共にある
学校づくり

(コミュニティ・スクール)

めざす学校像

学ぶ楽しさがあふれる学校 【知】 (夢実現を図る学校)
 やさしさあいさつがあふれる学校 【徳】 (笑顔いっぱいの学校)
 明るく元気があふれる学校 【体】 (安心・安全な学校)

めざす子ども像

ふるさとを愛し、大切にできる子ども【ふるさとに貢献できる子ども】
 自ら学び、考え、行動し、学びあうことができる子ども 【知】
 やさしく思いやりがあり、あいさつのできる子ども 【徳】
 心と体を鍛え、心身共に元気な子ども 【体】



めざす教職員像

- 豊かな人間性と教育愛にあふれた学び続ける教職員
- 子ども一人一人を認め大切にせる教職員
- 地域や保護者の願いや思いに応える教職員

めざす家庭像

- 基本的な生活習慣をしっかりと身に付けさせる家庭
- 思いやりの心など人権を大切にする心育てる家庭
- 学校や地域と協力し子どもを育み、子どもと共に成長する家庭

めざす地域像

- 子ども達が学びを活かし、活躍できる教育活動を積極的に支援する地域住民
- 一人一人を大切にしながら、多様な世代が共に学び続け、成長する地域住民
- 「愛されるふるさと木城」を創るために、子ども達と共にまちづくり活動に貢献する地域住民

特色ある教育活動

キータイム

(ふるさと・キャリア教育)



子ども達が地域や社会に関心を持ち「ふるさと木城」への誇りと愛着を高め、地域に主体的に関わろうとする態度を育成するとともに、9年間を通して自分の生き方や進路を考え、将来を切り拓いていく能力の育成に地域と共に取り組む。

外国語教育

外国語活動と英語科とのスムーズな接続に留意しながら、英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、自国の文化理解と外国語や外国の文化に対する理解と尊重する態度の育成に取り組む。

ICT教育

ICTを活用した学習指導の充実を図るとともに、子ども達が情報や情報手段を主体的に選択し活用していくための基礎的な資質(情報活用能力)の育成やプログラミング教育の円滑な導入に取り組む。

本年度重点取組事項

学ぶ楽しさがあふれる学校

【夢実現】

- ① わかりやすい授業の実践とフォローアップの徹底
- ② 地域との連携・協働による教育活動の推進

やさしさとあいさつがあふれる学校

【笑顔】

- ① 人間関係の醸成と人権感覚の育成
- ② あいさつの意義理解と励行
- ③ 児童生徒の夢実現への基礎的な資質の育成

明るく元気があふれる学校

【安心・安全】

- ① 児童生徒が安心して学校生活を送る手立て及び環境の充実
- ② 発達段階に応じた体力向上の手立ての実践

働きやすくやりがいのある学校

【働き方】

- ① 何よりも健康第一
- ② 風通しのよい職場環境(和と縁)
- ③ 教職員の専門性や個性の発揮

学校評価の項目

学ぶ楽しさがあふれる学校【夢実現】

4年生美郷南学園との交流



5年生 田植え

9年生総合「地元の人と語る会」



児童生徒総会

やさしさとあいさつがあふれる学校【笑顔】

読み聞かせ



縦割り清掃



コスモス大作戦



第1回運動会

明るく元気があふれる学校 【安心・安全】

交通安全教室



歯の健康教室



避難訓練



薬物乱用防止教室

学校運営協議会について

学校運営協議会の趣旨

保護者・地域住民等の

学校運営参画

保護者・地域住民等による

支援・協力の促進

学校・家庭・地域における

教育力の向上

学校・家庭・地域間の

信頼関係づくり

義務教育学校のよさ（今実感していること）

- ①異学年の交流の日常化
- ②9年間の育ち・学びの一貫した指導
- ③児童生徒を多面的・多角的に把握



学校運営協議会について

部会編成（学校の教育目標ごとに編成 ※各部会4名～5名）

「夢実現（学力）」部会 + 働き方改革の内容

「笑顔（豊かな心）」部会 + 働き方改革の内容

「安心・安全（たくましい体）」部会 + 働き方改革の内容

学校運営協議会について

会の基本的な流れと評価

第1回 5月29日(月)

- 全体会→部会(手立て等検討)→全体会(情報共有)

第2回 5月30日(火)～2月22日(木)

- 部会ごとに関係のある授業・行事等を各自参観

第3回 11月11日(土)

- 参観日授業の参画・参加・参観

第4回 2月22日(木)

- 全体会→部会(成果・課題検討)→全体会(次年度の取組)

「笑顔(豊かな心)」部会～昨年度まとめの会の協議の概要～

あいさつに関して

■令和4年度取組事項についての反省及び課題等

- ・評価では**8割以上**の児童生徒があいさつをしていると回答
- ・**地域では**あまりあいさつを行っていない現状
(登校班長等のリーダーが積極的にあいさつする場合は非常によい)

■令和5年度取組について

- ・登校班の集合場所や各地域での**立番指導**を入れては
- ・家庭での指導を啓発しては
- ・あいさつ運動に参加している地域の方々**が学校行事等へ参加**することによって、顔を覚えることになり、身近な人と認識してあいさつが向上するのでは

「笑顔(豊かな心)」部会 協議内容の概要

あいさつに関して ※令和4年度の学校運営協議会での課題を受けて

【現状・課題】

- 学校生活の中では挨拶がよくなってきている。
- 地域の中ではしっかりできる地区とできていない地区がはっきりしている。
- しっかりできる地区の子どもは、高校に進学した後も挨拶ができる。
- 登校班長等のリーダーが積極的にあいさつする班は、下級生のあいさつも非常によい。

「笑顔(豊かな心)」部会協議内容の概要

【取組】

- 1 挨拶の意義等大切さの周知**
→挨拶の大切さを発達段階に応じて繰り返し話をしていく。
- 2 継続した実践**
→大人が先手で挨拶をすることを心掛ける。
- 3 生活リズムの確立(睡眠の質や量、アウトメディア等)**
→学 校：各校務分掌で児童生徒への指導、家庭への啓発
→P T A：家庭教育学級での啓発等
- 4 保護者による登校様子の観察または登校に同行**
→ 仕事に出る時間等と一緒にいるため難しいが、P T A活動として年に1・2回程度はできないだろうか。

こんなよさが！

- 1 運営協議会委員が各部会に分かれて協議したことで、焦点化が図られ、多くのアイデアが出された。
- 2 地域の方が授業に参画し経験や学んできたことを子ども達に伝えていただくことで、学習指導の充実や学習活動の複線化・個別化が図られた。
- 3 町の特色等を具体的に学ぶことで、地域への理解が深まったり、地域のよさに気付いたりすることができた。

これからは！

- 1 学校運営協議会への学校側参加者の検討
- 2 運営協議会委員から出された意見のさらなる具現化

地域学校協働本部 の取組

～木城町地域学校協働活動について～

木城町地域学校協働本部事業について

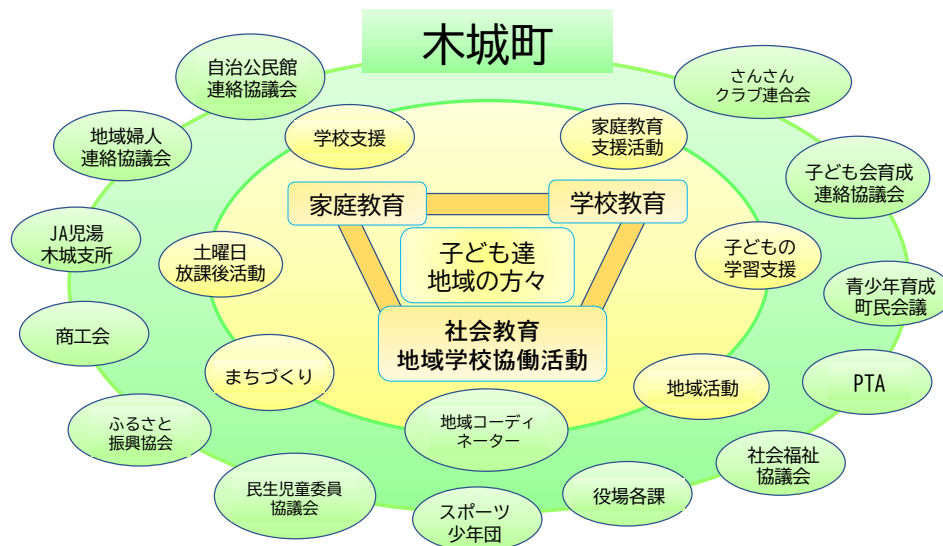
目的

- 地域全体で子どもたちの学びや成長を支える
- 「学校を核とした地域づくり」を目指す

活動 (学校運営協議会と連携して、以下における活動を行う)

- 1 学校支援活動及び地域と学校が連携・協働した活動
- 2 外部人材を活用した教育活動
- 3 その他、目的を達成するために必要な事業

メンバー (21名)



地域学校協働活動本部の3要素

- 1 **コーディネート機能**
地域住民等や学校関係者との連絡調整、活動の企画・調整を担う役割
(地域コーディネーターを中心に)
- 2 **多様な活動**
より多くの住民等の参画による多様な地域学校協働活動の実施
- 3 **継続的な活動**
地域学校協働活動の継続的・安定的な実施

木城町の地域コーディネーターは？ (地域学校協働活動推進員)

学校からの教育活動支援依頼、地域からの協働活動の要望などをつなぎ、地域学校協働活動を円滑に進める。

- ・毎週月～金（火を除く）、8時～14時
- ・学校運営協議会、地域学校協働本部の両方に所属
- ・みどりの杜 木城学園内に常駐

木城学園に常駐するメリット！

- 職員や地域からの依頼・要望を常に把握し、迅速に対応することができる。
- 教育課程を踏まえた地域への情報提供や調整ができる。

地域コーディネーターの具体的活動

- 1 地域学校協働活動の進め方について研修を実施
(校内)
- 2 地域コーディネーターからの情報発信
- 3 学校と地域が連携・協働しやすい環境の整備

地域COの具体的活動1 「研修の実施～地域学校協働活動の意義等説明～」

令和5年度 木城町 地域学校協働活動について
木城町 地域コーディネーター 大山博志

- 1 地域学校協働活動とは
地域全体で子どもたちの学びと成長を支えるために、学校と地域が連携・協働して行う様々な活動。地域コーディネーターは、学校と地域をつなぐ役割を担います。
- 2 地域学校協働活動の実施にあたって
(1)地域コーディネーターの活用
各学年、学級で地域に協力依頼したい活動がある場合、地域コーディネーターに早めに日時、活動場所、活動内容をお知らせください。地域から学校へ協力依頼がある場合も、地域コーディネーターが繋がります。
(2)昨年度の活動
(※ 黒字は学校から地域へ、赤字は地域から学校への依頼事項)

依頼者	依頼内容	実施日・場所	依頼先
1 木城小5年	田植え体験の支援	4/15 実習田	J A木城支所青年部
2 地域の方	アオバスクの集積の設置	4/28 木城小校庭	木城小・中学生
3 木城小1年	梅ジュースの作成	5/31 木城小	地域婦人連絡協議会
4 木城小4年	比木神社、リパリス訪問	7/15 比木神社 リパリス	比木神社宮司 教育委員会
5 木城中2年	農場体験学習	7/12,13 各事業所	各事業所
6 木城中1年	職業インタビュー	7/12 町内外事業所	各事業所
7 盆踊り実行委員会	盆踊り大会への参加	夏休み	木城小・中学生
8 自治公民館支援員	水難事故防止ポスター募集	夏休み期間中	木城中学生
9 木城小1・2年	プール監視の協力	6/22～	木城っ子安全見守り隊
10 町包括支援センター	体験活動参加者募集	夏休み	木城中学生
11 地域コーディネーター	コスモス大作戦への参加	夏休み、木城町内	木城小・中学生
12 木城小5年	稲刈り体験の支援	8/18 実習田	J A木城支所青年部
13 木城小5年	ミシン実習の授業支援	10/11～ 木城小	地域婦人連絡協議会
14 木城小2年	石河内訪問の支援	11/15 石河内	石河内公民館長
15 木城小5年	お米の講話	11/12 木城小	J A木城支所青年部
16 木城中3年	地元の人と語る会	11/12木城中体育館	町長、町内事業者
17 木城中2年	木城の魅力語る会	11/12木城中体育館	木城町内で働く方々
18 木城小3年	消防団の仕事	11/12木城小運動場	役場、消防団
19 木城小5年	ふるさと納税の講話	12/16 木城小講堂	まちづくり推進課
20 木城中3年	入試面接指導の支援	1/13～木城中	地域コーディネーター



地域C Oの具体的活動1 「研修の実施～地域学校協働活動実施迄の流れ～」

期 日	活 動 内 容
1 か月前までに	1 計画の立案 各学年、教科、校務部等で必要な地域学校協働活動の内容を検討
	2 地域コーディネーターへ連絡 地域コーディネーターに依頼したい内容を連絡
1 か月前	3 地域学校協働活動依頼書の作成、提出 別紙様式「地域学校協働活動依頼書」を地域コーディネーターへ提出 ○依頼事項や内容はできるだけ詳しく、具体的に ※ 依頼者が活動の「テーマ」「どんな支援が必要か」等を具体的に記入
1 か月前 ～ 3 週間前	4 地域コーディネーターが依頼先に連絡
	5 依頼結果を学校へ報告 ○詳細な打ち合わせは、学校の担当者と依頼先で実施 ○正式な派遣依頼書が必要な場合は、学校で作成し、送付
当 日	6 地域学校協働活動を実施 ※ 地域コーディネーターも活動に参加します
事 後	7 実施後、反省や改善点を確認

地域C Oの具体的活動1 「依頼書例～スムーズな実施に向けての資料～」

地域学校協働活動依頼書			
依頼事項	リパリス内見学・施設内説明		
活動場所	リパリス		
学 年	2 年 1 ・ 2 組	担 当	〇〇 〇〇 先生
月 日	7 月 1 5 日 (金 曜 日)		
時 間	2 ・ 3 校 時 9 時 2 0 分 ～ 1 1 時 0 5 分		
参 加 者	引 率	3 名	児 童 生 徒 4 9 名
	指 導 者	名	講 師 名
依 頼 内 容 等	その他		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ リパリス内施設の見学、案内（9：00～10：45） ・ 公共施設の利用（リパリス） ・ 事前（なごやか）の役割を楽しく ※ こやを 		
依 頼 内 容 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ リパリス内施設の見学、案内（9：00～10：45） ・ 公共施設の利用（リパリス） ・ 事前（なごやか）の役割を楽しく ※ こやを 		
提出先： 担当 → 教頭 → 地域コーディネーター			

2 地域コーディネーターからの情報発信「絆」

木城町地域学校協働本部だより NO. 1	木城町地域コーディネーター 大山 博志
----------------------	------------------------

1学期ももうすぐ終わりですね。本年度も様々な地域学校協働活動が実施されています。そのねらいは、子どもたちの成長を学校と地域が連携・協働して支えよう、学校を核とした地域づくりをめざそうというものです。1学期の活動を多くの方に知ってもらうためこの通信を発行します。

1 学期の活動の紹介

- 1 田植え、田んぼの草取り体験（5年生）
4月にJ A児湯木城支所青年部の方々のご協力を得て、田植えを行いました。ドロドロの田んぼに入るのは、初体験の児童も多く、「キャー、キャー」と歓声が響いていました。6月には草取りも行いました。
- 2 梅ジュースづくり（1年生）
1年生が「地域の食材を使った食べ物づくり」の活動で、今年も梅ジュースを作りました。学校の梅の実が少なく困っていると役場産業振興課から「山塚運動公園で取れた梅を提供します」と、連絡がありました。この梅を使い、地域婦人連絡協議会の皆様にご指導いただき、梅ジュースづくりを行うことができました。
- 3 公民館会長さんと語る会（8年生）
8年生が町内の公民館長さんをお招きし、地域づくりについて意見交換会を実施しました。生徒たちが考えた地域の課題解決策を公民館長さんとともに話し合いました。地域の実情を知ることでもでき、有意義な会となりました。
- 4 木城盆踊りのうちわデザイン募集（木城町ふるさと振興会）
地域から学校への協力依頼もありました。8月の木城町盆踊りに使用する「うちわのデザイン」を本校1年生と7年生に作ってほしいという依頼があり、子どもたちが熱心に取り組んでくれました。たくさんの中から、最優秀作品が選ばれ、盆踊り当日、参加者に配付されます。皆さんも木城盆踊りに行ってみませんか。



2 地域コーディネーターからの情報発信「町広報誌での周知」

こんにちは！ 地域コーディネーターです！

～学校を核とした地域づくりに努めていきます～（令和4年1月号）

地域と学校の「協働活動」が進められた一日でした！

11月12日の「生涯学習のつどい」大会では、午前の部として木城小・中学校の全学年で、地域の方々に招いた授業が実施されました。この日は、参観日で、保護者の方にも多くの活動に参加していただきました。

小学生から中学生まで、その学年の発達段階に応じた様々な内容で地域の方や保護者といっしょに授業が行われました。消防団の活動やJ A青年部の方々にお米のお話を聞いたり、地元で働く魅力や将来の夢を語り合ったりする体験は、子どもたちの心に響き、貴重な学びの場となりました。

授業に参加していただいた地域の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。地域の方で学校の学びを支えていただきました。これこそが地域と学校の「協働活動」です。これからもよろしくお願ひします。



3 学校と地域が連携・協働しやすい環境の整備

(1) 令和4年度 コーディネートの実績

	依頼者	依頼内容	実施日・場所	依頼先
1	木城小5年	田植え体験の支援	4/15、実習田	J A木城青年部
2	地域の方	アオバスクの巣箱の設置	4/28、木城小	木城小・中学生
3	木城小1年	梅ジュースの作成	5/31、小1教室	地域婦人連絡協
4	木城小4年	比木神社、リパリス訪問	7/15、比木神社、リパリス	比木神社宮司、教育委員会
5	木城中2年	職場体験学習	7/12、13町内外	各事業所
6	木城中1年	職業インタビュー	7/13、木城町内	各事業所
7	自治公民館支援員	水難事故ポスターの作成	夏休み期間中	木城中生
8	木城小1・2年	プール監視の協力	6/22～プール	木城見守り隊
9	町包括支援センター	体験活動参加者の募集	夏休み	木城中生
10	地域コーディネーター	コスモス大作戦への参加	夏休み～木城町内	木城小中学生
11	木城小5年	稲刈り体験の支援	8/18、実習田	J A木城青年部
12	木城小5年	ミシン実習の支援	10/11、木城小	地域婦人連協
13	木城小2年	石河内探索の支援	11/15、石河内	石河内公民館長
14	木城小5年	お米の講話	11/12、木城小	J A木城青年部
15	木城中3年	地元の人と語る会	11/12、木城中	役場、各事業所
16	木城中2年	地域の方と木城の魅力を語る会	11/12、木城中	役場、各事業所
17	木城小3年	消防団の仕事	11/12、木城小	役場、消防団
18	木城小5年	ふるさと納税の講話	12/16、木城小	まちづくり推進課
19	木城中3年	面接指導の支援	1/13、木城中	地域コーディネーター

(2) 令和5年度 コーディネートの実績

盆踊りのうちわデザイン制作 (1・7年生)



地域からの依頼増加



多様な活動が展開される
ようになってきた

(地域学校協働本部の3要素 その2)

3 学校と地域が連携・協働しやすい環境の整備

(2) 令和5年度 コーディネートの実績

職場体験学習 (8年生)



町内21か所の事業所での職場体験が可能に (令和5年度より)



学校と各事業所との連絡調整
に努めてきた

コーディネート機能

(地域学校協働本部の3要素 その1)

学校からの提案

コスモス大作戦!



【昨年度から始めた取組】

- 9年技術科「栽培活動学習」の一環としてコスモスを栽培
- 地域の方と共に「コスモス」を育て、町内をコスモスでいっぱいになりたい!
- 地域の方と一緒に種まきをし、育てたコスモスを町内全自治公民館に届けた。

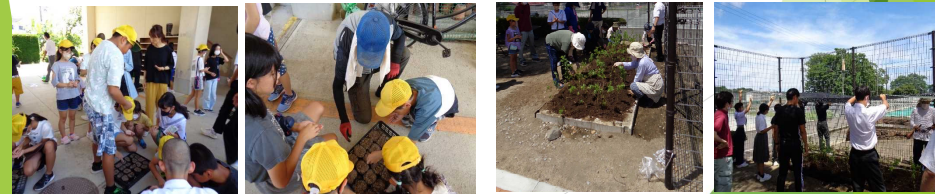
地域からの提案

フジバカマの移植!

【本年度の取組】



- 本町老人クラブの取組から始まったフジバカマの植栽活動。
- 3年前に学校での植栽を勧められ旧校舎内に植栽。アサギマダラの飛来を確認。
- 本年度新校舎になり、地域学校協働本部の話し合いでフジバカマを新校舎内に移植することに。



コスモス大作戦・フジバカマ移植の活動当日（7月18日）



昼休み時間に実施。
参加を希望する児童・生徒
を募集

地域学校協働本部員に参加
の呼びかけ
(参加可能な方のみ)



**参加者が無理せず継続的な
活動にしてい**
(地域学校協働本部の3要素 その3)

たくさんの児童・生徒・地域の方々が参加してくれました

地域学校協働活動を進める中で！

～活動や参加者の広がり～



フジバカマの花壇に寒冷紗の設
置・夏休み中の水やり・除草
↓
地域の方が自主的・自発的に活動



公民館独自にコスモス栽培
↓
**スケッチ大会、表彰式、食事会を行い
地域行事に発展**

地域コーディネーターの活動のポイント

学校と地域が連携・協働しやすい環境を整えるためには

- ☞ 学校と地域の実情を理解し、無理なく協働活動が進められるよう調整する。
- ☞ 学校の児童・生徒にとっても、地域の方々にとっても有意義な取組にしてい

地域学校協働活動を進める中で！

2年生の地域探検「石河内地区での活動」

児童の声
「知らないことがいっぱいあった。」
「木城はよいところがたくさんあるなあ。」
「いろいろ教えてもらってうれしかった。」

地域の方々の声
「地区の高齢者にとって励みになった。」
「小学生とたくさん触れ合え地域に活気が出た。」
「この活動はずっと続けてほしい。」

地域学校協働活動を進める中で！



地域学校協働活動が地域に
元気と勇気を与えるものに

木城町の地域学校協働活動のこれから

地域づくりに学校への依頼が増加中

- 木城ふるさとまつりの運営に木城学園生が参加
- 学校の交流ホールで社会福祉協議会主催ミニコンサート
- 公民館独自のコスモス鑑賞会、演奏会

学校では全学年で地域の方々が参画した授業を実施



これから・・・

子ども達の学びを積極的に支援するために
多様な世代が共に学び成長するために

「愛されるふるさと木城」をつくるために
町民の緩やかなネットワークを形成して

大人も子どももみんなが顔見知りで

「もっと住みよい町にしたい。」

「もっと町のことを語りたい。」

こんな木城町を目指していきたいと思います。

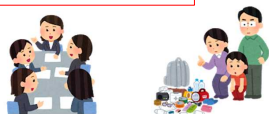
地域があって 子供がいて 学校がある
～学校づくりは地域づくり 地域づくりは学校づくり～

木城町「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」

学校運営協議会

地域と
共にある
学校づくり

協議の場



地域学校協働本部

学校を
核とした
地域づくり

地域を
創生する
活動の場



連携・協働

大人も子どもも学び合い育ち合う
教育体制の構築